

日 時：平成25年5月27日(月) 午後1時30分から午後4時
会 場：鎌倉市役所講堂

議事の概要：

1. 開会あいさつ
梅澤市民活動部長
2. 庶務事項
事務局齋藤担当課長
配布資料の確認、会議の公開状況の確認
3. 議題
(1) 市からの報告

- ①地震・津波対策ガイドラインについて
事務局から説明

会員)

ガイドラインを策定されたとのことですが、今後はどのように活用されるのですか。

事務局)

今後の活用方法としましては、各事業者さんには、例えば一次避難時の取り組みというのを定めさせていただいておまして、事業者は従業員とお客さんを安全な高台に避難出来るよう、避難マニュアル、避難ルート等などの確認を従業員の教育や訓練に努める事としますと記載させていただいております。すでに、事業主の皆さまには、それぞれマニュアルを策定されているところもあると思いますが、まだマニュアルがない、商店街でマニュアルを作りたい、などという際にご活用いただき、皆さまにも周知をお願いしたい。必要部数をおっしゃっていただければ、観光商工課でご用意をします。また、実際にマニュアル作りに踏み出していただいた際にも、行政の方でお手伝いする事があれば進めて行きたいと考えております。

- ②観光関係予算について
事務局から説明

- ③海水浴場ネーミングライツについて
事務局から説明

会員)

鎌倉の海水浴場は、歴史的に由緒ある場で、神聖な場所であり、日本の代表的な海水浴場であるところが、ネーミングライツによって名前を変えてしまっているのかどうか疑問です。どのような経過でネーミングライツを導入することになったか教えてください。

事務局)

経過を申し上げますと、数年前から、企業にスポンサーになって頂き、公共施設に商品名等を冠した愛称をつける「ネーミングライツ」という取り組みが、全国的に行われております。例えば、野球場や文化施設などでの導入事例があります。鎌倉においても、施設の持続的な運営のため、財源確保の取り組みとして、遅ればせながらこのような取り組みをやっというのを、行政経営戦略プランと言う計画で決めました。24年8月からネーミングライツを募集する準備を始め、今年の3月から、海水浴場の募集をしました。

募集をして以来、お叱り、反対意見を頂きましてその多くは、伝統ある海岸の名前を変えてしまうのはどう言う事かというご意見、たった100万円欲しさに名前を売るのかというご意見、大きく分けてこの二つのご意見を頂きました。これについて説明をいたしますと、今回のこのネーミングライツでは、由比ヶ浜海岸、材木座海岸の名前を無くす、変えるということではなく、市が海水浴場として開設する一定の期間、材木座、由比ヶ浜の地名は残して、例えば〇〇材木座海水浴場、あるいは由比ヶ浜〇〇ビーチとかと言うような、地名を残した愛称を付けることを条件に募集をしておりますので、海岸の名前が変わってしまうということはありません。

また、百万円以上と言うことで募集をしましたが、今回は豊島屋さんに、年額1,200万円のご提案をいただき、ネーミングライツパートナーとして決定をしました。今までの経過は以上の通りです。また、先ほどの予算の説明でも申し上げましたが、海水浴場の運営と開設には、毎年4千万～5千万円の費用がかかっております。この費用を市民税収だけで賄っていいのか、という考えもあり、今後間違いなく人口が減少し、市民税も確実に減少して行く中で、財源を確保することが自治体の持続的な運営に必要だろうということで取り組んでおりますので、ご理解いただきたいと考えております。

会員)

海水浴場の運営に費用がかかっていることもわかりますが、地名が残るとはいえ、たかが年間1,200万円のために、歴史ある鎌倉の海水浴場に冠がついてしまうというのは、市民感情としてちょっと待ってほしかったなと思います。

④海水浴場の開設について

事務局から説明

⑤入込観光客数について

事務局から説明

会員)

今年は増える可能性はあるのでしょうか

事務局)

今年に入って2月と5月にカウント調査をした結果、また、JR東日本様から頂いたゴールデンウィーク中の乗降客数などを見ると、いずれも平成25年はさらに前年を上回る数字です。このまま推移していけば今年はさらに多い観光客数になると思っております。

会員)

外国人の方はどうですか。

事務局)

外国人観光客数については、厳密なデータはございません。把握している最新のデータとしては、日本政府観光局が平成22年に訪日外国人の数を空港などへの出入りの数をカウント、アンケート調査をしたデータで、各県ごとあるいは、主要な都市ごとに訪問率を出しています。そのデータでは、鎌倉の訪問数は平成22年で約17万人前後と公表されています。

会員)

このゴールデンウィークには、大変多くの方が鎌倉にいらっしゃって下さり、大変ありがたいのですが、交通機関がかなり混みあっていました。やはり、土日や連休はキャパシティを超えてしまっている状況だと思います。平日と休日の観光客数を平均化す

るような取組みは市で何かされているのでしょうか。

事務局)

季節的、時間的、場所的な観光客の集中、偏りを平準化する取組みが重要であろうということで、着地型観光の推進を平成22年度から始めております。今まで無かったような観光資源をテーマにツアーを作り、観光客の方にいままで体験できなかった新たな楽しみを感じて頂く。また、受け入れ側としても、ある程度の観光客の誘導が図れるという利点もあります。一定の経済的効果もありますので、現在は、観光協会に今年1月に旅行業の届出、登録していただきまして、この取組みを市も支援をして一緒に進めて行きたいと考えております。

会員)

これからは行事の関係なども積極的にお知らせして、ぜひ一緒に取組みたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

会員)

先ほどの外国人観光客の件ですが、毎週木曜日横須賀基地の方が研修をかねて、たくさんいらっしゃっています。毎週、人数を報告してもらってはどうですか。また、その方々に、ヒアリングをしてみると、今後の外国人観光客受入体制の整備の参考になるのではないかと思います。

事務局)

横須賀米軍基地からいらっしゃるお客様の数は、観光協会からガイドを派遣しておりますので、数は把握しています。観光商工課で毎年作成している「鎌倉の観光事情」という統計資料に、観光案内所における日本人、外国人の案内数が出ていまして、その国別データの、アメリカ人の案内数の中に横須賀米軍基地からいらしている観光客の数が入っています。

(2) 会員からの報告

① アフリカ開発会議について

鎌倉警察署)

本日は、アフリカ開発会議に伴うご連絡とご協力を、お願いしたいと思います。各種メディアで取り上げられておりますが、今週末みなとみらい地域でアフリカ開発会議が開催されます。この会議は、平成5年から政府が主催しており、5年に1回開かれる会議です。今年は53ヵ国、関係者約3千人の人達が訪れます。その中にはアフリカの首相や日本の総理大臣関係閣僚等もおりまして、期間中、みなとみらい地区は、厳戒態勢となります。今回の開催地は世界的有名な観光地で非常にマスコミの露出度も高く、そのためテロ等のターゲットになりやすい。鎌倉警察署においても、署を上げて公共交通機関の方にもご協力を得ながら、期間中列車警備、駅等の警戒、集客施設の警戒を行います。皆様にも色々ご協力をご理解、賜りますので宜しくお願い致します。

また、今年4月16日のアメリカのボストンマラソンで、テロがありました。このテロの特徴は、犯人が国際テロ組織のアルカイダの組織の人間では無かった。また爆弾も、誰でもが作れる爆弾が使われました。アメリカでは、テロ対策に万全な国でテロが起きたと、しかもアメリカはそのテロに関して情報が全然無かった。そのような状況でテロが発生したということで、日本の警察にとっても非常にショッキングな事件でした。この鎌倉ではテロを絶対に起こさせないという危機意識を皆さんと共有したいと思っております。神奈川県警からのお願いをお配りしております。過去に、高校生が学校の地下室から薬剤を持ち出し、爆弾を作ってしまったという事例や、薬を購入してその薬で爆弾を作ってしまったという事例もあります。警察でも、薬局など、薬物を扱っている所を回って連絡とり、購入者がいないか調査しておりますが、もし皆さんの所でもその

ような情報がありましたら警察に一報いただければと思います。

もうひとつお配りしております、防犯カメラ設置マニュアルですが、先ほどお話ししましたボストンマラソンのテロの犯人を早期に確保できたのは、防犯カメラの力が非常に大きかったという状況があります。また、様々なテロの犯人は、やはり防犯カメラの設置してあるところは避けるという統計もあります。犯罪の抑止、犯人の早期検挙のため、防犯カメラが不可欠であると考えております。皆さまにおかれましても、防犯カメラを是非設置していただけるようにご検討いただければと思います。よろしく願いいたします。

会員)

防犯カメラですが、設置に係る費用に対する補助金のようなものはないですか。補助金がなければ、設置は難しいと思います。

鎌倉警察署)

補助について等、具体的な質問がございましたら、本部の生活安全総務課にご連絡いただければお答えできますので、よろしく願いします。

②世界遺産登録について

世界遺産登録推進協議会)

鎌倉の世界遺産登録については、新聞報道等で皆さんご存知とは思いますが、不記載という一番厳しい結果になってしまいました。これまで市民、行政一緒になって努力してまいりましたので、大変残念な結果です。今後、世界遺産登録について、どうしていくのかについては、今日、県知事と関係市の長が集まって文化庁に行きますので、方向性がある程度決まると思います。今回の結果を受けて、世界遺産にならなくても、鎌倉の価値は揺るがないというのが、私の結論です。世界遺産登録は、ゴールではなくスタートです。もし、世界遺産に登録されれば、いろんな問題があります。交通障害の問題然り、様々な意味で喜んでばかりいられません。しかし、これだけの遺産を守る為には、市民の責任が問われます。これだけの中世以来の歴史的な資産を残せる街は、世界に他に無いのです。ご存じの通り、古都保存法を初めて使った遺産でもあります。鎌倉の良さを後世に伝えるために、今回の結果を受け止め、引き続き取り組みを進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

③平成24年度観光客のニーズに関する調査報告書について

横須賀三浦地域県政総合センター)

この調査は、県政総合センターの管轄地域の、それぞれの市町の観光ニーズや動向の特徴をとらえる調査ということで平成24年に実施したものです。調査の目的としては、観光客の地域を超えた回遊性を高め、地域毎に抱える課題を把握して、今後の改善点を抽出していこうというものです。調査方法はアンケート調査です。また、事業者様にはヒアリングをさせていただいております。調査結果につきましては、報告書のとおりです。鎌倉は、全国からまんべんなく観光客がいらっしやっていて、特に女性、それも50代以上の女性が多く、少人数での旅行が多いようです。回遊性としては、鎌倉の後に行くのは藤沢や横浜を挙げる方が多いようで、県政総合センター管内地域への回遊はあまりないという結果が出ております。逆に、管内の逗子や葉山の結果を見ると、ほとんどの方が逗子や葉山を訪れた後、鎌倉に訪れる傾向にあるようです。事業者へのヒアリング結果も、報告書にまとめておりますので、ご活用いただければと思います。管内地域での課題としては、交通の問題や広報PRの充実、広域的な観光の推進などを挙げております。このように、各地域の特徴をとらえた調査というのは他にないものだと思いますので、ぜひ今後の皆さまの取り組みにお役立ていただければと思います。

会員)

宿泊率がかなり高く出ているようですが、調査地点はホテルのロビーなどでしょうか。

横須賀三浦地域県政総合センター)

詳細のデータを持ち合わせていないため、確認して後日連絡させていただきます。

④北大路魯山人の里、テレビドラマが映し出した大船の街について
鎌倉市自治町内会総連合会)

鎌倉の観光資源の中で、あまりスポットライトのあたらない大船地域の観光についての資料をご用意しました。北大路魯山人とは、晩年を大船の山崎で過ごされ、東京で美食の会をやっておられた芸術家です。こういった方が、鎌倉に魅力を感じて、鎌倉に住まわれていたということが最近忘れられてきているように感じていましたので、観光資源の一つとしてご紹介をさせていただきました。

また、1月から3月までフジテレビで、ビブリア古書堂の事件簿というドラマが放映されておりました。北鎌倉から大船方面の地域というのは、普段は観光客があまりいらっしゃらないのですが、ロケ地を訪ねていらっしゃる方が増えてきたように思います。全国で放送されているドラマですので、大変影響があったのではないかと感じましたので、ご報告をさせていただきました。

(3) 意見交換・情報提供

世界遺産登録推進協議会)

英勝寺の建物が国の重要文化財になりました。八幡宮や大仏に比べるとあまり知名度の高い寺ではありませんが、横須賀線から見えるお寺ということもありますし、観光資源の一つとして改めてご紹介したいと思います。

鎌倉市観光協会)

今年も鎌倉まつりが4月に行われまして、パレードに18万人、静の舞に3万人、流鏝馬は当日雨が降ったこともあり昨年より少なくなりましたが2万人の方にお越しいただき、無事に終了いたしました。

また、JRさんをお願いして、7月から鎌倉駅の発着ベルを「鎌倉」という曲にしてくださいことになりましたのであわせてご報告いたします。

鎌倉商工会議所)

5月18日、19日に第12回鎌倉ビーチフェスタが行われました。2日間とも天候に恵まれ、約3万人のお客様にお越しいただき、無事に終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

鎌倉市仏教会)

着地型観光についてですが、何かお寺でお手伝いできることがあれば、アイデアをいただきたいと思います。観光協会や行政だけでなく、お寺も事業者さんも、警察さんも横のつながりで、一緒になって何か取り組みができればいいと思っておりますので、アイデアをお寄せ頂ければと思います。よろしく願いいたします。

鎌倉市観光協会)

観光協会では、少人数限定のツアーで、普段見られないところを特別に公開して、レストランや料亭で特別メニューを食べてもらって、というような高級ツアーを作れないかと考えております。ぜひご協力をお願いしたいと思います。